

R3年度総会は集合開催を検討

5月16日(日)午後1時開会を予定

吉川まちづくり自治協議会の令和3年度の通常総会を集合方式で開催が可能な検討を進めています。昨年はコロナ禍で感染拡大が想定され、



長寿会のメンバーなどが協力して、学校田の田植えが毎年実施されています

東広島市など行政からも集合方式ではなく書面決議方式が推奨されました。1月23日開催の第6回理事会では、話合うべき地域課題も多く、最終的には市の指導によることとの開催を検討していくこととしています。総会の議題としては、事業報告・決算報告・監査報告、令和3年度事業計画・予算(案)が中心となる他

吉川工業団地西側エリアの開発動向によつては、所有する不動産の取扱いが議題となります。昨年度提案のあった村誌会計の適正化を図るための基金会計の制定は、今後の基金のあり方を含めて議論をお願いすることとなります。吉川地域のほとんどが市街化調整区域であり、かつ土地区画整理事業が実施された農地であることから、新たな住宅地化が規制されています。

住民が増えない中で進む高齢化と少子化は、地域の将来の不安材料になっています。現在、様々な角度から新たな住宅地化の可能性と、吉川の魅力発信に英知を集め努めています。小学校統合計画問題、高齢化課題等を含む地域の明日を総会の場で話し合います。



【活性化PJT会議の様相】

地域の住民増へ具体的取り組みを

第17回活性化PJT会議を開催

吉川地域活性化プロジェクトチーム第17回会議を3月11日、メンバーなど14名が参加して開催しました。今回の会議には、地元大学生が参加する

百㎡以下)誘致などの意見がありました。学生からは、「地域をよくしていく」との熱いものを感じた。若い人が入ることによって地域の感度を上げることができるとは「等」の意見がありました。

会議では事務局から「吉川小学校周辺部を精査したところ、50戸連担が見込める。今後具体的に移住者を求めるフェーズに移行してはどうか。住んでみたい吉川をアピールするための時期といえることを説明。マイクロン社からは、吉川工業団地西側エリア民間開発動向について、「3月第1週から地権者との個別交渉を始めた。墓地について、土地所有者との折衝と並行し墓石所有者との話し合いも進める。本社を2月28日付で吉川工業団地内に移し地元企業となったこと」の報告がありました。

昭和52年から始まった水稲の減反政策生産調整等を担った農区長制度が、東広島市地域農業再生協議会の推進委員にR3年度から変わります。農区内の農家が10戸以上は新しい制度に移行し、未達は原則廃止となります。廃止地区の水田台帳は郵送で行われます。制度廃止は、法人化等で稲作農家が減ってきたこと等が言われています。吉川地区も、推進委員が残る地区とおられない農区が併存すること

地域住民の生きがいづくりをお手伝い。いきがい部会で話合

いきがい部会を2月26日、部会参加組織



【いきがい部会の会議模様】

の代表者など18名が集まり開催しました。部会は、最初に理事部会水城部会長のあいさつの後、議事が水城部会長の進行で進められました。事務局から令和2年度事業結果を報告し、令和3年度事業計画に反映する事業のうち、東広島地域の活動、地元活動を説明し、各参加組

織から現状の活動とR3年度に向けての事業を説明し、意見交換を行いました。その結果、つぎのとおりまとめました。◎令和3年度吉川文化祭については、吉川地域センターで開催することが好ましいとして、その開催要項は、更に検討すること◎参加組織の次年度事業は今年度開催できなかったものを復

活させて予算を含め現行通り理事会に求めていくこと。◎R3年度の組織体制は現在の参加組織で構成すること。部会役員は、参加組織の役員構成などを踏まえて検討すること。いきがい部会として、人口が少しづつ減少し65歳以上の高齢化率が42%の状況を踏まえて、住民の皆さんが生きがいを持てる地域とするための施策に取り組むこととしていきます。

この後、各メンバーから、地域交通網としてのコミュニティバス・県道2路線の改善八本松駅前開発への期待、9m幅県道沿いの店舗等(床面積5



【刈取りの様子】

よしかわだより

令和3年3月25日(2020-12)
発行:吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawa.jitikyo@outlook.jp

年度2回目の粗大ゴミ回収を実施

令和2年度第2回粗大ゴミ回収を実施しました。2月28日には燃やせない粗大ゴミを、3月7日には燃やせる粗大ゴミを回収しました。28日の回は、東部を上横野中横野区、西部を市条自治会、7日は東部を下野原下横野区、西部を戸坂自治会が担当しました。回収はそれぞれの地区責任者・班長・地区推進委員などに協力をいただきました。

燃やせないゴミでは、TV組込みラジカセ、化粧品容器、自動車部品、サイドミラー、強化プラスチックがありましたが、燃やせるゴミでは、箆、筒内残置物(防虫剤、ハングー、吊り金具)、古着、指定外の大サイズのせん定枝、伐採木、農業用に用いられたと思われる資材他がありました。

※TV組込みラジカセを出された方、有料ゴミですので自治協事務局(分別間違いは回覧で)次年度も、これまでの実施方法をベースにそれぞれ年2回実施する予定です。

持込み者からは、あらかじめ「分別ブックで確認しました。」と言われる方が多くなっています。今回正しく分別が行われなかったゴミはつぎのような物があります。

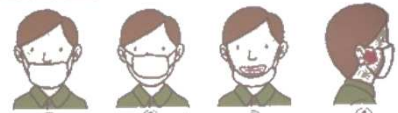


写真：左上から上横野中横野区、市条自治会、下野原下横野区、戸坂自治会にお手伝い頂きました

吉川げんき塾後期第22回では、講師に広島国際大学から梅田弘子講師とゼミ生の佛崎美帆さんから、「コロナ禍

手洗い・マスク着用ノウハウ学ぶ (3月11日吉川げんき塾)

正しくないマスクのつけ方はどれでしょう?



の今、感染を防いで健康に過ごすためにできること」と題して、正しい手洗いの方法・正しいマスクの付け方などの実技を含め学びました。塾生以外の参加者を含めて45名が熱心に受講しました。マスクが接する鼻・ほっぺあごに密着させる

八本松八十八石仏保存の話を書く

第7回吉川史跡保存会を3月5日、15名で開催しました。

第6講は、八本松で八十八石仏の保存と地域づくりに取り組んでおられる西田敏幸さまからお話を聞きました。石仏は大正15年に開



写真：八十八石仏代表西田敏幸さん

眼供養されたものの、幾度かの台風・大雨災害によって、数体が流出してまだ見つからない石仏があり、仮に安置したこと。災害の都度地元有志によって石仏探索修復が繰り返えされていることなどのお話がありました。あわせて石仏を核としての地域おこしとして、石仏の会を発足し、ルートマップ・冊子を作り、定期的に88カ所をめぐる機会を作る、子どもガイドの養成、修復保存に地元をはじめ多くの方が参加している実態を聞きました。



写真：第7回史跡保存会の模様

吉川史跡保存会として史跡の活用保存の取り組みに参考となる貴重なお話を聞くことが出来ました。次回4月2日は、当会メンバーから話の出て古地図にある火窯を知りたいとのことから、三ツ城古墳など賀茂台地の古墳群を調べておられる東広島郷土史研究会「古墳はかせ」福村博士さまのお話を聞きます。

と呼吸の都度マスクの表面が動くようになることで、感染防止に役立つ着用状態となること。手洗いは泡状の石鹸を使い丁寧に洗う水をすすぎ取り消毒液をすり込むこと。店舗の入口での消毒液は、手のひらに十分受入れて手全体を消毒し、手が乾いた時点で完了とのこともありました。コロナ禍での感染予防は、ひとりひとりが基本を守り行動することが大切と学びました(表題クイズすべて該当)

吉川まちづくり自治協議会…4月予定表

- 3月27日：第7回理事会
 - 4月4日：生活用水路清掃
 - 4月20日：第2回コミュニティスクール準備会
 - 4月24日：第8回理事会
 - 4月26日：総会案内(予定)
- ※(市)：市主催行事 開催日等が変更となる場合があります

元気輝きポイント認定団体

- 吉川げんき塾：4月スケジュール
毎週木曜日10時~11時30分
於：吉川地域センター
- 4月1日：R3年度開講式、体操、脳トレ
 - 4月8日：グループワーク
 - 4月15日：体操、脳トレ
 - 4月22日：体力測定、ファイブコブ評価
 - 4月29日：休み
- 参加は、いつでもOKです。まずは見学参加しませんか

よしかわの1枚



吉川工業団地の工場・事業所

東広島市市民活動情報サイト「すきかも」もご覧ください

<https://www.higashihiroshima.sukikamo.jp/>

“よしかわだより”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。